

特別展 てんぐやひさきち

天狗屋久吉と

伝統を受け継ぐ人形師たち



2023年

9/16(土)→11/23(木祝)

9:30~17:00

入場料

一般410円、高・大310円、小・中200円

会場・お問い合わせ

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184

Tel.088-665-2202

Fax.088-665-3683



JAPAN HERITAGE
日本遺産

人形制作実演と解説

9/16(土)、10/8(日)、10/29(日)、11/12(日)

10:00~12:00, 13:00~15:00

阿州でこじゅく師範 人形尚、人形武、人形猛、人形稔



3館合同企画

天狗久資料館、人形のムラ、阿波十郎兵衛屋敷

主催：徳島市教育委員会、藍のふるさと阿波魅力発信協議会、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

特別公演 天狗久の人形が舞台に登場！

9/17(日) 14:00~15:10

傾城阿波の鳴門

順礼歌の段から十郎兵衛内の段

太夫：(口)藤井登美昇 (奥)吉本藍玉、三味線：竹本友和嘉、

人形：勝浦座

10/15(日) 15:30~16:15

生写朝顔日記

宿屋から大井川の段

太夫：竹本友代、三味線：鶴澤友輔、人形：寄井座

11/4(土) 15:30~16:15

三番叟まわしと箱まわし

阿波木偶箱まわし保存会

助成 とくしま文化・未来創造支援費補助金

主な展示内容

- ・初代天狗久の木偶や道具、細工注文帳など
- ・現代の木偶：阿波木偶制作保存会師範制作の木偶（人形恒、人形由、人形末弘、人形洋、人形伊左）



初代天狗久
写真提供：天狗久資料館

た
だ
ひ
た
す
ら
に
作
り
続
け
る

初代天狗屋久吉は、明治・大正・昭和と三時代にわたり、阿波人形淨瑠璃に使用する木偶（でこ）を製作した人形師です。16歳で和田の人形富に弟子入りをして以来、生涯ひたむきに人形をつくり続け、製作した頭は千を超えると言われています。阿波や淡路の舞台に映える、より優れた人形を生涯にわたって追い求め、頭の大型化、ガラス目の採用など工夫を重ね、阿波木偶が全国的に知られるものとなりました。天狗久の努力は、現代に受け継がれ、今も多くの人形師が活躍し、全国の人形淨瑠璃を支えているのが徳島なのです。

特別公演

9/17(日) 14:00～15:10

傾城阿波の鳴門

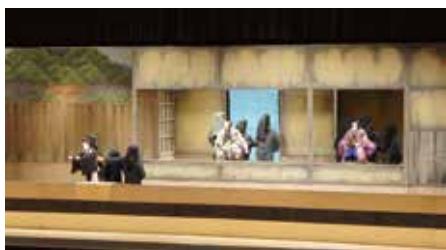
順礼歌の段から十郎兵衛内の段



10/15(日) 15:30～16:15

生写朝顔日記

宿屋から大井川の段



宇治川の螢がりで恋に落ちた深雪（朝顔）と阿曾次郎（駒沢次郎左衛門）。阿曾次郎は、また会うまでの形見にと、深雪の扇に「朝顔」の歌を書いて渡します。深雪は親の定めた縁談の相手が、改名した阿曾次郎と知らず家を出ます。流浪の末に盲目となり、琴を弾いて唄を歌うごぜに身をやつします。ある日、島田の宿で客に望まれ琴を弾きますが、その客こそ阿曾次郎でした。深雪が歌ったのは扇に書かれた朝顔の歌。阿曾次郎は、深雪と気づきますが、悪人の岩代が横にいるため、やむなく朝顔の歌を書いた扇と目の薬を宿の主人に託して出立します。事の次第を知った朝顔は、嵐の中を大井川まで追いかけていきます。



徳島市天狗久資料館

天狗久旧工房の公開及び天狗久関係資料の保管などを行っている。

●所在地：徳島市国府町和田字居内172

●電 話：088-643-2231

●休館日：月火水（祝日を除く）、
年未年始（12/24～1/5）

●開 館：9:30～16:00

●入館料：無料

●アクセス：JR府中駅→徒歩15分

徳島市営バス「和田北」下車徒歩3分

